



クールビズよもやま (IRSME15007)

平成 27 年 6 月 26 日 出口 友恵

2005 年、環境省主導のもと、地球温暖化と節電対策として、ネクタイや上着をなるべく着用せず、夏季に 28℃ 以上の室温に対応できる服装を着用するように呼びかけた動きがクールビズである。クールビズという表現は『涼しい』や『格好いい』という意味のクール(cool)と、仕事や職業を表すビジネス(business)の短縮形ビズ (biz) を合わせた造語である。環境省は 2012 年からは『スーパークールビズ』も推奨している。

■ クールビズの歴史

1979 年にクールビズの起源になるような動きがあった。第二次オイルショックの影響を受けて大平内閣が提唱した『省エネルック』である。半袖のジャケットに開襟シャツのスタイルで、お世辞にも "cool" とは言えなかった。実際、羽田孜氏など一部の政治家を除きほとんど普及しなかったようだ。

この失敗を受けて 2005 年にスタートしたクールビズ。当初は『新・省エネルック』と呼ばれ、受け入れられるか、どれだけ定着するかが注目されたが、現在の認知度は 9 割を超えており、成功と言って差し支えないだろう。省エネルックとクールビズの明暗を分けた理由はどこにあるのだろうか。

クールビズは、環境にやさしい取り組みであることをアピールしたことに加え、涼しさだけを優先せず、アパレルメーカーが見た目にも配慮したスタイルを推奨したことが成功の大きな要因としてあげられる。2012 年からは夏の電力不足も考慮して、これまでの取り組みをさらに進化させた、スーパークールビズを推進している。

平成 27 年 6 月 26 日

(IRSME15007) クールビズよもやま

■ スーパークールビズが推奨する 5 つの取り組み

スーパークールビズの取り組みが推奨されることで、決まった制服や作業着を着用していた企業も取り組みやすくなつたのではないだろうか。

1. いつでもどこでも 28℃！

- 自宅とオフィス、室温の 28℃の徹底
- エアコンは必要な場所だけ、必要なときだけ
- 省エネ家電への買い換え
- 扇風機を使って快適・効率的に

2. 勤務シフトもスーパークールビズ！

- 勤務時間の朝型シフト
- 残業はなるべく禁止に
- 在宅勤務の導入を検討
- 夏休みを 2 週間に

3. スーパークールビズファッショントで快適に！

- ノーラン着を夏のフォーマルに
- かりゆしやポロシャツ、Tシャツの活用
- うちわや扇子、日傘でちょっとした暑さを凌ぐ

4. 設備・機器の工夫でスーパークールビズ！

- ブラインドで夏の強い日差しをカット
- 日よけ、すだれの活用
- オフィスの窓に植物のカーテンを設置
- 省エネ照明や断熱材の導入

5. 小さなアクションやアイデアグッズを！

- 打ち水でビジネス街の温度調整
- パソコンなどのこまめなスイッチオフ
- 体内から冷やしてくれる食べ物の摂取
- 冷却ジェルシート、氷のうなど冷やすグッズの活用

スーパークールビズのコンセプトは、『義務ではなく、日常の様々な工夫で、カンタンに、かっこよく、楽しく過ごす』である。ファッショントだけでなく、シフトや設備の工夫など会社としての取り組みを見直し、明るい気持ちで取り組みたい。

平成 27 年 6 月 26 日

(IRSME15007) クールビズよもやま

■ まとめ

11 年目を迎えたクールビズだが、認知度、実施率の上昇とともに、取り組みの幅も広がってきている。

また、地球温暖化防止のための国民運動は、クールビズだけでなく、暖房時の室温 20℃でも快適に過ごせるライフスタイルを提案するウォームビズ、エコドライブを推奨するエコドライバープロジェクト、ライトダウンキャンペーン、みんなで節電アクション、グリーンカーテンプロジェクト、あさチャレ、あかり未来計画など様々な取り組みがある。

『地球温暖化防止』となるとスケールの大きい話題ではあるが、スーパークールビズの具体的取り組みのように、日々の活動を改善することが地球に優しい取り組みとなる。まずは自社で何ができるかを考え、周りを巻き込み明るい気持ちで取り組みたい。この取り組みが社内で改善活動が広がるきっかけにしたいものだ。(了)